

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	悠創の丘	指定管理者	特定非営利活動法人グリーンセンター
所在地	山形市上桜田366番地	県担当課	村山総合支庁建設部都市計画課
指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	(電話番号)	(023-621-8220)
検証期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況					
① 管理・運営業務の履行状況		指定管理を受けて2年目となった本年度は、モンテさんから継続的な支援を賜りながらも悠創の丘として自立すべく様々な改善を行い県民・市民の安全・安心な憩いの場の提供に心がけ業務を運営してまいりました。ホームページは、随時情報の記載更新を行い、またInstagramには毎週悠創の丘の四季の画像の提供を行い利用の拡大を図りより多くのご利用いただきました。あわせて施設整備、衛生面の徹底を行い安全管理に努めました。各業務については、管理水準に基づき業務を実施した他、展示室は年間利用調整を行い、催しものをホームページ及びInstagramに掲載し利用者の利便性と拡大を図りました。園内各所に設置されている木製テーブル・イスの点検修繕を行い安全管理に努めました。その他どんぐり橋の床板修復、感動の丘のあじさい階段の修繕等を実施しております。緑地管理では、管理水準に基づき適切な管理に努め、一部基準を超える内容できめ細やかに実施しました。		評価	＜評価の理由＞ ・維持管理水準に基づき、概ね適切な管理運営を行っている。 ・利用者の安全性、利便性を継続的に確保するため、施設・設備の修繕等に主体的に取り組んでいる。 ・SNSの活用により、悠創の丘のきれいな景観を各方面にPRしている。
② 管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）		現在通行止めになっている園南側の果樹園近くの橋の補修、展示室の雨漏り、悠創館の屋根の劣化、研修室のエアコン能力低下（要更新）が近々の課題である。全体的に27年経過していることからまた次々に課題・問題が浮き出しになってくるものと考えられることから事前把握に努めたい。		＜課題等の原因分析＞ ・施設整備から20年以上経過しており、施設・設備の老朽化が進行している。	
課題、問題点への今後の対応		・指定管理者においては、利用者の安全確保及び設備故障等によるサービス水準低下の防止を図るため、常日頃から適切な点検を行うとともに、小規模修繕を適宜実施していく。大規模な補修となる場合は県と密に相談し進めていく。 ・利用者ニーズを把握し、必要に応じて施設の整備等を行っていく。			
2 利用者からの要望等への対応					
① 意見・要望等及びその対応状況		利用者アンケートより①Wi-Fiの設備があると学生的にはうれしい。②傾斜を利用したイベントや、楽しいイベントものが欲しい。③熊が出ないか気にしながら、山を登りました。友達と何回も来たいです。④道が解り辛いでした、また散歩コース案内看板も解り辛い。案内板がもう少し欲しい（分岐点に）。⑤女子トイレの表示サインの色が薄い。⑥とても素敵な所だと思います、景色が最高でお弁当が美味しい。何時も綺麗で楽しませていただいています。対応①全体的にWi-Fiあるのが普通ようになって来ております。現在は悠創館内のみWi-Fiとなっております。②R7年度新規企画事業として「悠創の丘フォトコンテスト」を企画しております。③熊は今までは出たことはありませんが、いつどこに出るかまったく神出鬼没で、熊鈴やラジオ、スマホを利用してご対応願います。④もう一度全面的に見直します。⑤R7年度検討・対応いたします。⑥より安全・安心の確保に努め魅力いっぱい憩い無限の悠創の丘を目指してまいります。		評価	＜評価の理由＞ ・利用者からの意見や要望を把握し、可能な範囲で対応している。
意見・要望等への今後の対応		・今後とも利用者ニーズの把握に継続的に取り組み、サービスのさらなる向上につなげていく。 ・クマの出没数が年々増えて来ているため、予防対策について検討する必要がある。 ・利用者からの要望等については、まずは運営方法等の工夫による対応を検討し、必要に応じて施設整備等の方法についても検討していく。			
3 指定管理者制度活用の効果					
① サービスの向上		自主事業7企画にて1,111名の参加者に各種体験や憩いの機会を提供し、里山の面影が残る悠創の丘の資源を有効に活用した健康づくりレクリエーション等にての利用拡大に努めました。サクランボ採取体験が不作のため当方にて収穫し福祉施設6団体にそれぞれ1箱（2KG）をお届けし、感謝のお言葉を頂きました。悠創の丘のパンフレットを、来場者へはもとより広く関係機関に配布するとともに、パンフレット内のQRコードから、ホームページ・Instagramに入ることができます。より多くの皆様から愛される悠創の丘をもっともっとご利用いただけますようにPRしてしていきたいと考えております。		評価	・多数の企画事業、自主事業を実施し、多くの利用者に多様な各種体験活動の機会を提供し、公園利用者サービスの向上に努めている。 ・広報等のPRについて、紙だけでなく電子データも使うことにより公園のPRに努めている。
② 経費の節減		園内竹間伐の多くをチップ化し竹林に敷込み循環活用した他、自主事業での門松づくりや竹炭体験等に竹材を有効利用しました。自主事業では、グリーンセンターのスタッフを講師として開催し、費用軽減を行いました。自主事業チラシを作成し、HP・Instagram・新聞等広く効率的な宣伝を行いました。また、昨年度更新した展示室のスポットライトLED化の効果は大きなものとなっています。		評価	＜評価の理由＞ ・竹間伐材のチップ化を行い、竹材を有効利用するといった経費の削減に取り組んでいる。 ・電気代（物価）の高騰による、対策を指定管理者内部で実施している。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)		悠創の丘のより良い運営管理のための組織である『第16回悠創の丘サポート懇談会』をコロナインフルエンザ感染予防等の諸事情から書面会議にて開催し、課題への対応について貴重なご意見・ご提案を頂きました。（R7は集合開催を予定しております）地域連携活動として、地元子供会「滝山子クラブ」と共に行う『見晴らしの丘の花畑活動』を継続して行いふれあいの機会になりました。地域遺産『神尾古道』の整備活動を4月に西蔵王公園管理者と共同で行い、下草刈り作業を通して連携を図りました。		評価	＜評価の理由＞ ・地域住民とともに園内の花畑を整備する活動を行うなど、地域の活性化につながる活動を主体的に行っている。
総合的な評価		・公園の管理者として意欲と責任感を持って日々業務にあたっており、適切に管理運営がなされている。 ・利用者ニーズの把握に努め、サービスの向上に主体的に取り組んでいる。 ・地域住民と一体となった公園づくりを行うなど、地域の活性化に貢献している。			

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。